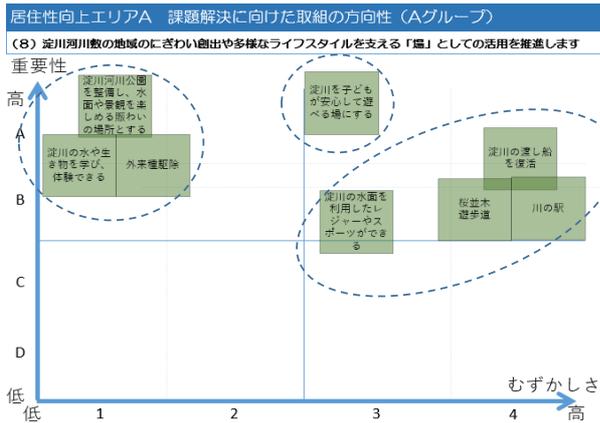


第1回鳥飼まちづくりランドデザイン2Aワークショップ-取組の方向性(8) Aグループ



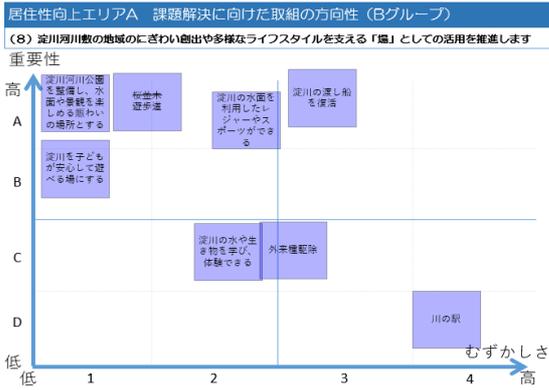
Aグループ意見要旨	
<ul style="list-style-type: none"> 全体を大きく3つのグループに分けた。 1つ目のグループは、「外来種駆除」をすることで、「淀川の生態系を学ぶ」ことが出来るが、学びの場とするためにはまず「景観の整備」が必要と考えた。 2つ目のグループは、子どもが安心して遊ぶためにも、そもそも現状子どもが居ないのが一番問題。子どもが安心して遊べるためにはトイレの整備や野犬の対策も必要。年齢別に遊べる場所の整備も必要と思われ、色々整備が必要になることから難易度を上げている。 3つ目のグループは、イベントとして括った。現状、夏のイベントは多くあるが、冬のイベントは無いので、冬に人が集まれるイベントをしてはどうか。そもそも淀川の水の中で泳ごうと思わない。 葦の保全区域を設けたうえで、イベントとして不要な葦を刈り、冬にキャンプファイヤーなどをすればどうか。 	

重要難易度	取り組み	意見
A1	淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする	葦を整備 防犯設備の設置 保全地域の確保 草を無くす 川から水を引っ張ってきてピオトープ等遊び場を作る
B1	淀川の水や生き物を学び、体験できる	用水路に仕切りを作って飼育スペースを作る
B2	外来種を駆除する	外来種を食べる イベントにしてしまう
A3	淀川を子どもが安心して遊べる場所にする	そもそも子どもが遊んでいない ゴミ箱やトイレの場所をもっと多く設置してほしい トイレが汚くて使いづらい 野犬がいる 子どもがいきにくく、安全に遊べない 遊びが制限される 年齢別に遊べる場を作る
B3	淀川の水面上を利用したレジャー（魚釣り大会）やスポーツ（トライアスロン）ができる	レジャーエリアを作る 流れが速く泳ぐのが難しい 水をきれいにする 地引網大会など陸地から出来るイベント
B4	桜並木・遊歩道	仁和寺大橋を可愛くデコレーションする
B4	淀川の渡し舟を復活	イベント時の渡し舟利用
B4	川の駅	BBQスペース ソロキャンプスペース 川の駅をイベントスペースにする モミの木を植えて、クリスマスマルシェ 暖炉やキャンプファイヤーで葦を燃やす

※葦を燃やすことについて

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、野焼き行為等は禁じられているので難しい

第1回鳥飼まちづくりランドデザイン2Aワークショップ-取組の方向性(8) Bグループ

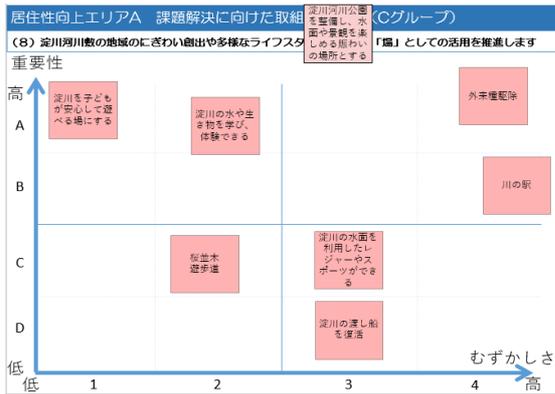


Bグループ意見要旨

- ・淀川河川敷を整備していけば全体的に繋がっていくと考えられるので川の駅以外は全体的に難易度が下がって、重要度が上がっている。
- ・桜並木については、堤防に桜は植えられないそうなので遊歩道の観点のみで考えた。
- ・淀川に子どもと行こうとした際に、車の通行量が多いわりに歩道と車道が近く、歩道がある場所も少ないため、危険を感じることが多いと思われるので、整備を重要としている。
- ・外來種駆除もイベントなどでやれば生き物を学ぶこともセットで出来るのではないかと。
- ・セットで考えることで、比較的難易度が下がるものも多いのではないかと。
- ・川の駅で鳥飼の農作物などを売れば珍しさなどで人は来るかもしれないので、アリはアリかもしれないが、重要性は高くはないと考える。
- ・商売が出来るとなると人が集まってくると思うので、まずは知ることから始めて淀川や鳥飼を良くしていきたい。

重要難易度	取組	意見
A1	淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする	水がきれいになり、川底まで上から見えるようにしたい ゴミが落ちているかなどを利用者がチェックしていればいいと思う 現存の施設状況を確認の上、不足している分を考える 自由に利用できる施設（サッカー場、インラインスケート場などは使用許可が必要なので、もっと簡単に利用できるようにする） サッカー場やフットサル場などの施設の開放が必要 テニスコートが使用できない（過去の増水後復旧できていない） 景観や水面を楽しめるようにしたい まず、使いやすいトイレがない
A1	遊歩道 ※桜並木は削除	桜の植樹は堤防も河川敷もできないため、桜並木の場所がない 遊歩道は可能 道路が整備されていない（深い溝があったり、木材が倒れてきそうな場所がある） 河川公園内の遊歩道を整備する。現状は草が生い茂っている。 歩道などもなく道も狭いので、淀川にたどり着くまで車が危ない 安心して楽しめるような場所の整備が必要。（お金が必要） 広すぎて子どもを見失う 基本的に車と歩道の距離が近いから危険 堤防の斜面はコンクリートブロックのため段ボール遊びはできない 構造物を河川敷に作る事が出来ない中、子どもは何を求めているか。子どもが集まる場にしないとダメ 子どもの年齢設定は？就学前は保護者同伴が必要だが、そもそも小学生以降はデジタル機器で遊ぶのがメインで、淀川で遊ばないのではないかと。 淀川はきれいが危ない。川岸には近づかないなど、事前の教育指導が必要
B1	淀川を子どもが安心して遊べる場所にする	基本的には車と歩道の距離が近いから危険 堤防の斜面はコンクリートブロックのため段ボール遊びはできない 構造物を河川敷に作る事が出来ない中、子どもは何を求めているか。子どもが集まる場にしないとダメ 子どもの年齢設定は？就学前は保護者同伴が必要だが、そもそも小学生以降はデジタル機器で遊ぶのがメインで、淀川で遊ばないのではないかと。 淀川はきれいが危ない。川岸には近づかないなど、事前の教育指導が必要
A2	淀川の水面上でレジャー（魚釣り大会）やスポーツ（トライアスロン）ができる	外で遊ぶことの良さを知らせてもらうことが必要（きっかけ作りが必要） 水面を活かしたレジャーを行うには警備体制が必要 子どもには大いに参加してもらえる 水をきれいにしたら良い イベントはそんな頻りにしなくても良いのではないかと。春と秋くらいでよいのでは？わいわいガヤガヤ祭りの年1回でもしんどいのでは？ 安全性を確保し魚釣り大会 淀川でしかできないトライアスロンは良い 淀川横断水泳大会は良いのではないかと 船着場（防災用）は利用できるが、ワンドを利用したレジャーを行うには安全対策が必要 まず、水がきれいかどうか問題 淀川じゃないとダメなのか。水難事故が怖い 子どもや高齢者だけでなく、成人（中学～5、60代）が参加できるイベントは必要だと思う
A3	淀川の渡し舟を復活	イベントと連動したら実施できる（淀川わいわいガヤガヤ祭り、寝屋川水辺祭り、寝屋川さくら祭り）等 摂南大学のボート部（ゴムボート）の協賛等を得て実施できる
C2	淀川の水や生き物を学び、体験できる	淀川河川レジャーを講師に淀川に生息する動植物を知る 淀川に生息している動植物を知るために、興味を引くようなチラシを作る 小中学校で淀川に生息する魚の勉強をする時間を作る 大阪府水生生物センター見学会を行い、淀川に生息する魚を知る ワンドで地引網を行い、目の前で魚を見る機会を作る 雑草や樹木が多く、水辺で遊べない 草刈りをして水と触れ合えるようにすることが必要 他のイベントとコラボで可能だが、敷地を使ってまでする必要はあるか。 大正川ではガサガサ遊び出来るが、淀川では難しいのか。
C3	外來種駆除	必要だと思うが無理 難しい。何が居るのかわからない。 外來種を集めて展示する必要があるのでは。その展示場所が問題。 危険性を話し合ったうえで実施するなら出来るかも。 河川レジャーと共催で定期的実施したらよい。（庭窪ワンドでは実施している）
D4	川の駅	川の駅が出来ることによって工事などをすると景色が変わるのではないかと 建築物は難しい。あまり必要性は感じない 淀川の自然と歴史を知ることができる資料を展示する 淀川に生息する魚類を展示。 淀川に生息する魚を食する会（イベント）を行う 鳥飼の農産品の即売 鳥飼なす専用食堂を併設

第1回鳥飼まちづくりランドデザイン2Aワークショップ-取組の方向性(8) Cグループ



Cグループ意見要旨

- ・「淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする」が何よりも最重要と考え重要度Aより上にした。※最重要課題
- ・最重要課題の取り組みを実現することで、他の取り組みも連動してくるものと考えている。
- ・「外来種駆除」は最重要課題を実現するにあたって、外来種がいることで危険性があることから、安全な場所の実現には絶対的に必要となるため、市の意見よりも大幅に重要度を上げた。
- ・「桜並木・遊歩道」は市の意見よりも重要度、難易度を下げている。桜並木はすでに鳥飼の方にある桜で良いのではないかと。また、桜ではなく、菜の花等の植物でも良いのではないかと。木ではなく花にすることで、難易度も下がると考えている。

重要難易度	取り組み	意見
A1	淀川を子どもが安心して遊べる場所にする	野犬、タニ、タヌキ、イタチ 柵がない(野放し) トゲトゲの草がある 草の背が高く見通しが悪い 年に何回か草を刈る必要がある 裸足で歩きたい
A2	淀川の水や生き物を学び、体験できる	ボランティアを募ってハードウォッチングや草花の観察会を開催 安全な釣り場所を作る(急に足を取られる場所になっている) 川を見られるような場所にしたい。きれいな景色など。 葦は一部残す。(珍しい生き物も居るので)
S3 ※最重要	淀川河川公園を整備し、水面や景観を楽しめる賑わいの場所とする	サッカーや野球場はあるが、それ以外の目的の人は集まらない お金はどこから出るのか 誰が整備するのか 現状、フットサルが出来るのは良い 水面が見えないのが残念 造園会社同士でコンペをする
A4	外来種駆除	アライグマなど危険な生物がいっぱい どういう種類が居るのか 今のままだともっと増える気がする
B4	川の駅	河川防災ステーションの開放 マルシェや野菜販売所
C2	桜並木・遊歩道	今あるから良いのでは? 作ろう!でも毛虫が。 菜の花やヒマワリを植えたらどうか。
C3	淀川の水面を利用したレジャー(魚釣り大会)やスポーツ(トライアスロン)ができる	淀川は泳げるほどキレイなのか? 誰かの目が必要(人が増えるほど、管理者などが必要になる) レスキューする人は常に居るようにしないといけない ボートレース場 カヌー 白鳥ボート フットサル大会の開催
D3	淀川の渡し舟を復活	鳥飼の歴史を学ぶ一環として実施 土日だけで良いのではないかと。(観光・楽しみの一環) 現状、わいわいガヤガヤ祭で運行中